

No. 1188

巨人、やっと優勝

190 本

セ・リーグ

自力優勝を控え、阪神に連敗、ついに最終試合の広島戦までもつれ込んだ巨人。

10月16日、広島球場。コチコチに固くなった巨人にひきかえ、広島は積極的な攻撃でリードを奪い試合の主導権をにぎります。しかし巨人は6回の表、反撃に転じ3番張本が高橋からレフト前の渋いヒットで出塁、続く4番王の49号2ランで同点。なおもジョンソンのホームラン、柴田のタイムリーでこの回4点をあげ逆転。

慎重を期して小林をマウンドに送ります。9回裏、ツーアウト。バッターは代打高月、歓喜に舞う長島監督。巨人は最終試合でやっと勝ち、3年ぶり、通算29度目の優勝を決めました。

国際航空宇宙ショー

281

— 埼玉・入間 —

209

世界8カ国から自慢の航空機76機を集めた「国際航空宇宙ショー」が10月17日から8日間にわたって埼玉県入間市の航空自衛隊入間基地で開れた。これに先立ち16日高松宮御夫妻をお迎えして、開会式が行われた。挨拶する坂田防衛庁長官。このショーは航空技術の国際交流を目ざし、昭和41年に初開催して以来今年で五回目。パリのエッショーなどと並ぶ世界4大航空ショーのひとつである。

ミグ25亡命事件の余波でソ連は直前になって出展の取り止めを通告、それでも今年の空の話題が一堂に会するとあって、初日から、大混雑。NHKの朝のドラマ「雲のじゅうたん」で真琴が乗った「太洋号」も話題の一役をかった。

ロッキード事件でもうひとつの疑惑を呼んだ、対潜しょう戒機P3C「オライオン」。そして函館空港から茨城県の百里基地までミグ25を空輸した巨人輸送機C5「ギャラクシー」。日本のレーダー網を低空飛行でかいくぐったミグ25に「これさえあれば領空侵入前に発見できたものを」と防衛庁をくやしがらせたE2C「ホークアイ」。F-X計画の主力候補のひとつF14「トムキャット」。そして最有力視されているF15「イーグル」これはソ連のミグ25の競争機としてアメリカが開発した最新鋭の戦闘機。急上昇や旋回などF15の性能は高く評価されている。ロッキード疑獄、ミグ25亡命事件とその禍中で開れたこの国難航空宇宙ショー話題はまだまだ尽きそうもない。